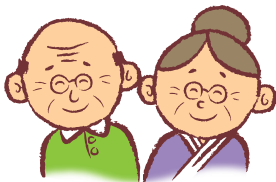


にしじ



第34回 社会福祉大会



賛助会員加入のお願い

土庄町社会福祉協議会では、社会福祉の充実と住みよい町を築く為にご協力頂ける賛助会員を募集しております。お互いの幸せのためにお力添えを賜りたいと思います。

主な内容

福祉チャリティーバザー 老人福祉大会	2	令和7年度 共同募金実績報告	6
土庄町社会福祉大会 福祉関係法人連携防災セミナー	3	あたたかい善意 いつまでもお元気で	7
グループホーム ソレイユB	4	小部はまぼうサロン 表紙の説明	8
シルバー人材センター活動紹介	5		

福祉チャリティーバザー開催

今年度も土庄町老人福祉大会と同日に福祉チャリティーバザーが盛大に開催されました。

地域の方々から多くの品物をご提供いただきまして本当にありがとうございました。前日には、ボランティアグループと福祉団体の方々が品物の整理・値付け・陳列と準備を進めました。毎年、準備をして下さっている方は慣れた様子で値付けをしていきます。

当日、販売開始の合図を待ちかねていたお客さんが一斉に売り場の品物を手にとります。

「安いからいっぱい買えたわ」「欲しいのが見つかった」と声をかけていただきました。

この収益は、各ボランティアグループと福祉団体に配分されることとなります。各団体にも高齢化と人手不足の波がやってきています。この福祉チャリティーバザーの活気をエネルギーに変えて、日々の活動に力を注いでいただきたいと思います。また、来年度もこの福祉チャリティーバザーが皆さんのご協力のもと開催されることを願っています。



令和7年度 福祉チャリティーバザー収益金配分額

	団体・グループ名	使用目的	決定額
1	土庄町婦人会	土庄町婦人会スポーツ大会運営費	10,000
2	土庄町老人クラブ連合会	広報誌町老連印刷費	20,000
3	土庄町身体障害者福祉会	香川県障害者スポーツ大会参加費	15,000
4	小豆郡手をつなぐ育成会	会報誌印刷費	10,000
5	小豆更生保護女性会土庄支部	手袋購入費	7,000

老人福祉大会

令和7年11月19日(水)に第62回老人福祉大会が開催されました。

大会では、多年にわたり老人福祉にご尽力いただいた7名の方に町連合会長より表彰状と記念品の贈呈の式典が行われました。式典終了後、こども園や小学校3年生も参加された演芸大会が行われ、和やかな時間を過ごしました。



第34回 土庄町社会福祉大会を開催

令和8年2月19日(木)第34回土庄町社会福祉大会が土庄中央公民館中ホールにて開催されました。恒例の「ひまわりの家」「みくに園」の手作り作品やケーキの販売と無料の飲み物の接待が大会参加者に好評でした。

三木大会会長の式辞に始まり、土庄町長岡野名誉会長や来賓の方々の祝辞を頂きました。式典では、多年にわたり地域の中で福祉活動をされた6名の方々に表彰状、感謝状と記念品が贈られその功が労われました。

また、講演会では、「まちをつなぐ ひとづくり」と題して、小豆島中央高校 初代校長の泉谷俊郎先生から食と地域で高めるコミュニケーション力として、小中高生時代に地域とつながること、古里を誇れる気持ちを育み、この取組みを継続することにより、将来、地元に戻って来てもらえることを願うアイデアを練って活動を続けておられます。



参加された方は、熱心に受講されていきました。

受賞おめでとうございます
(敬称略・順不同)

表彰状

- 山下 千里 (刈崎)
- 中野 英子 (豊島)
- 平野 輝昭 (大部)
- 森本 佐恵子 (大部)
- 久保 博史 (本会)
- 感謝状
- 森川 卓 (本会)

小豆圏域福祉関係法人連携 防災に関する研修会を開催

11月10日(月)、小豆圏域の福祉関係法人・行政・社会福祉協議会等より30名が出席して、防災研修会をサンシャイン会のサントリー多目的ホールで開催しました。

研修会の第一部は、石川県社会福祉法人 麗心会の理事長藤田先生による「能登半島地震の福祉避難所の経験から」と題してご講演いただきました。

福祉避難所の運営ポイントとして、被災者支援は、初動が大事で、支援する側の職員の被災状況がポイントであり、いかに職員が確保出来るかが大事であるということでした。

また第二部は徳島大学大学院防災科学分野 金井純子先生による「実効性のあるBCP(事業継続計画)にするために」と題してご講演いただきました。必要な行動内容だけをカード形式で整理し、緊急時に特化して必要最小限の役割と責任が明記



されている、災害時アクションカードを使い、グループワークとして実践を行いました。

マニュアルを熟知していないスタッフにもわかりやすい訓練ツールであり、BCPにおける自分の役割を認識することができました。

グループホームソレイユB(障害者用)の開業

社会福祉法人ひまわり福祉会

ひまわり福祉会では、障害のある方々が住み慣れた小豆島で安心・安全に暮らしたいという長年の願いを実現するために新施設の建設に取り組んできました。ようやく土庄町と小豆島町両町の全面的なご支援、地元の小豆島自治会や関係諸機関のご理解を得て、グループホームソレイユBを令和8年の夏に開業できることになりました。

その新しい施設の概要をお知らせします。

○場所 土庄町湊崎甲518番地12 (小豆島老人ホームおりの東隣広場)

○構造 木造2階建て(2階は女性専用の施設)

○延床面積 約359㎡

○居室 全室南向きの個室(物入れ付きの洋室で照明・エアコンは常設、ネット使用可)

○居室数 1階・2階に5居室 計10居室

○共用施設
・1階・2階にある共用施設
リビング、トイレ、洗面所、浴室、脱衣室・洗濯室、倉庫

・1階のみにある共用施設
食堂、台所、車椅子対応トイレ

○共用家電 洗濯機、乾燥機、テレビ等

○利用者数
・共同生活援助(入居者) 7名 (入居者は女性4名、男性3名で、日常生活の動作がある程度自立した方、女性は自力で2階まで階段で上がり降りできる方)

・短期入所(シヨート) 2名

・緊急時受入れ 1名

計10名

○職員用施設 職員室、更衣室、宿直室、トイレ

○入居者募集 令和8年春頃に募集予定(事前に施設見学も可能)

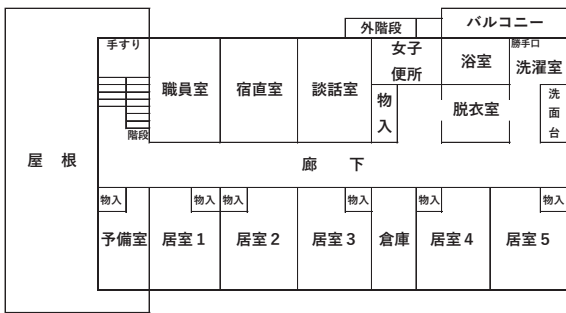
○利用料金 入居者募集時にお知らせ

○その他 小豆島町二面にある現在のグループホームソレイユは、新施設の開業に伴って、短期入所を取り止めて、入居者1名を募集予定

関心のある方は、ご遠慮なく当法人又はグループホームソレイユにお問い合わせください。お問い合わせの電話番号は、

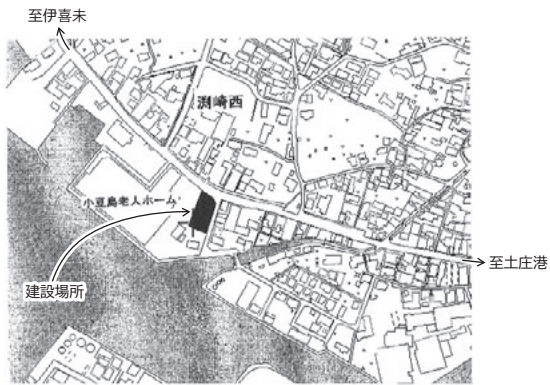
【075-2320】です。お気軽にご連絡・ご相談ください。すようお願いいたします。

併せて職員も大募集しています。無資格・未経験者・高齢者の方も大歓迎ですので、何とぞよろしくお願ひします。

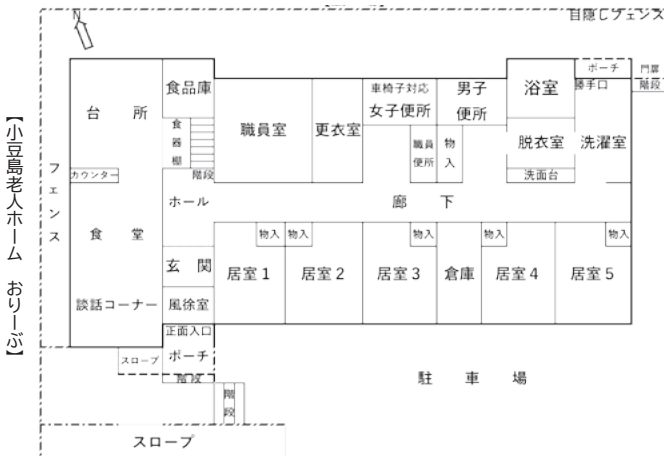


グループホームソレイユB 2階平面図

【広場】



グループホームソレイユBの建設場所



グループホームソレイユB 1階平面図



屋根、外壁等ができ上がったグループホームソレイユB

シルバー人材センター 活動報告

女性会員入会促進イベント開催

11/27(木)にサンメッセ香川で女性会員入会の促進を目的としたシルボンヌin香川2025が開催されました。女優の安藤和津さんによる基調講演や、草加市シルバー人材センターさんのよさこい踊り、女性会員によるファッションショーと盛りだくさんの内容で楽しみました。土庄町・小豆島町合同で展示ブースをもうけ、絵手紙、仏画、島てまり、アロマサシェなど会員さんの作品を展示しました。参加した方からは「まだまだ元気でがんばろうと思った。」「私も何かを始めたい。」と前向きな言葉がありました。イベントをきっかけに女性会員の方がシルバー人材センターで活躍する機会がますます増えればと思います。



親睦旅行・忘年会



9/12(金)、愛媛のタオル美術館へ親睦旅行



12/7(日)、国民宿舎で毎年恒例の忘年会
おいしいお料理やカラオケで大盛り上がり

第1回笑話会 ～交流会～

2/6(金)サン・オリーブで会員交流会を行いました。

会員同士の親睦が目的の茶話会で今回初めて小豆島町シルバーさんと合同で開催しました。

お仕事について情報交換したりいろいろな刺激を受け良い機会となりました。



フラワーアレンジメント教室

2/18(木)にイマージュセンターでフラワーアレンジメント教室を開催しました。60歳以上の方が対象で、瑞香さんによる季節のお花を使ったフラワーアレンジメントを行い、その後茶話会を開きシルバー人材センターの紹介をさせていただきました。毎年いろいろな講習を企画しております。参加された方にシルバー人材センターのことを知っていただき、多くの方にご入会いただけたらと思います。



シルバー会員大募集!!

おおむね60歳以上の方ならどなたでもご入会いただけます

TEL:64-5764 《担当:八木》

女性も
大歓迎です

赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました



令和7年度に皆様からお寄せいただいた募金は、全額「香川県共同募金会」に送金しました。令和8年度の事業に還元されることとなりますので、皆様の地域にも役立たせていただきます。

《令和7年度 赤い羽根共同募金実績》

団体名・募金方法	実績額	団体名・募金方法	実績額
土庄地区	1,132,293	(株)百十四銀行	9,000
淵崎地区	717,600	(株)レデイ薬局	4,090
大鐸地区	202,200	職域募金	250,000
北浦地区	235,200	個人募金	7,739
四海地区	308,400	街頭募金	38,828
豊島地区	202,200	イベント募金	6,006
大部地区	234,000	その他の募金	64,552
香川県農協	30,000	合計	3,442,108



11/2(日)商業祭で街頭募金を行いました。たくさんの方にご協力いただきました。



こちらが職域募金でご協力いただいた『赤い羽根うどん県バッジ』です。

500円の募金でバッジが1個もらえます。

毎年、バッジのデザインが変わります。

今年の10月からまた新デザインのバッジ募金になりますのでご協力をお願いします。



あたたかい善意

ありがとうございました

(令和7年8月1日から1月31日まで)

香典返しや、その他あたたかいご寄付ありがとうございました。

本紙をもって厚くお礼申し上げます。

(敬称略、受付順)

本会对するもの

- 三万円 藤井啓作 保土喜崎
- 三万円 岡崎政憲 淵崎
- 三万円 高橋敏子 上庄
- 五万円 長井里子 町外
- 五万円 石床勝則 屋形崎
- 五万円 濱野博毅 淵崎
- 一万円 長谷川清満 北山

土庄分会に対するもの

- 五万円 高橋昌樹 千軒
- 三万円 藤井啓作 保土喜崎

淵崎分会に対するもの

- 三万円 長谷川キフミ 北山
- 三万円 濱野博毅 淵崎

大鐔分会に対するもの

- 三万円 藤原茂子 肥土山
- 金一封 三村和志 肥土山
- 四万円 佐々木育夫 肥土山
- 二万円 石原康博 肥土山
- 三万円 佐伯 駿 肥土山

四海分会に対するもの

- 三万円 山本 安春 長浜
- 三万円 堀川 尚樹 伊喜末
- 三万円 中上 博文 長浜
- 三万円 山本 兼司 長浜

豊島分会に対するもの

- 三万円 安岐 光彦 家浦浜
- 三万円 向井 正美 甲生
- 三万円 高山 初義 硯
- 三万円 向谷 由美 甲生
- 三万円 濱田 修二 唐櫃浜
- 三万円 角石 浩二 家浦浜

大部分会に対するもの

- 三万円 森本和則 向町
- 三万円 三宅浩則 小部
- 三万円 英 一昭 向町
- 二万円 濱垣るみ子 田井
- 二万円 杉本正則 田井
- 二万円 西村由女 上野

ご寄附ありがとうございました



いつまでも

お元気で！

昨年の9月8日(月)、敬老の日を前に、土庄町長と土庄町社会福祉協議会会長が、高齢者と米寿の方を訪問し、皆様の長寿をお祝いしました。

9月1日現在で、わが町の95歳以上の方は182名、(男27名、女155名)、その内100歳以上の方は、25名(男3名、女22名)おられます。

これからもお体を大切になさってください。



小部 「はまぼうサロン」



はまぼうは小部自治会館の愛称ですが、小部の浜に咲くきれいなお花の名前です。「小部のみんなで集まって楽しみたいなあ」という声をきっかけにサロンを始めました。毎回おしゃべりやおやつ、小物づくりや講師を呼んで為になる話などを楽しんでいます。

1月はタートルマラソンの応援に集まり、その後にみんなでお弁当やおぜんざいも食べました。応援にも熱が入り、来年は鈴をつけた応援グッズを作ってみんなでランナーの応援をしようという話になりました。

「次回は小物入れを作ろう。」「グラウンドゴルフをやってみよう。」みんなで楽しみながら健康づくりや認知症予



防ができる催しの計画が盛りだくさんです。「オリーブの歌」「ボケない小唄」な

どの歌も歌い、最後は「大部行進曲」（15番まである大部を紹介する歌）を歌い、会を閉じました。

みんな小部が大好きで、気が付けば自然と小部の自慢話をしています。のどかで暖かな幸せを感じられる時間でした。



《日 時》 毎月第3日曜日

13:30～15:00

《場 所》 小部自治会館はまぼう

《参加費》 1回100円

表紙の紹介



ひまわりの家とみくに園の両施設の商品の即売会が行われました。

コーヒーや紅茶の無料接待もあり、多くの方に喜んでいただきました。



土庄町社協だより「にじ」の印刷費の一部は共同募金助成金をあてています。